



かしばのみちしるべ

～国道165号香芝柏原改良・踏切道の改善～

◆問合先 香芝市土木建設課 ☎44-3317

▲中和幹線

国道165号香芝柏原改良

国道165号は大阪府から奈良県を通して三重県をつなぐ主要な広域道路ネットワーク路線であり、中和幹線は桜井市を起点とし、奈良県と大阪府の境界を終点とする幹線道路です。

「国道165号香芝柏原改良」は、香芝市穴虫から大阪府柏原市田辺までの未整備区間で実施される国の道路改良事業のことで、慢性的な交通渋滞や見通しの悪い急カーブや急勾配が連続して存在すること、安心して通行できる歩道空間が整備されていないこと、また異常気象時通行規制区間が含まれていること等の課題があるため、早期の整備が求められています。



▲4市の市長による国土交通省への要望活動

中和幹線建設促進期成同盟会の活動再開

中和幹線の建設促進に寄与することを目的として、平成5年4月、香芝市、大和高田市、橿原市、桜井市及び広陵町の4市1町により「中和幹線建設促進期成同盟会」が発足しました。

平成23年以来、活動が滞っていましたが、令和7年6月、三橋市長を含む4市の市長で国土交通省に対して、「国道165号香芝柏原改良」の事業促進と早期の工事着手、また、同事業の推進に必要な予算、財源の確保について、要望書を提出し、国土交通省からは「国としても予算を確保して、事業を進めていく」との回答を得ました。



▲香芝柏原改良完成イメージ図（香芝市田尻付近）
（近畿地方整備局 大阪国道事務所 提供資料）